

星田北地域に公園を

さらがい議員が要望



星田北地域は、近年宅地の開発がすすみ、「公園が少なく、子どもの遊ぶ場所がない」との声が聞かれます。12月議会の一般質問で、日本共産党のさらがい議員は、「星田北5丁目の防災多目的広場を活用するなど、星田北地域に計画的に公園を整備してほしい」と要望しました。

【質問】星田北地域では、近ごろこの広場を、子どもの遊び年宅地の開発やマンション建場として、開放することはでき設がすすんでいるが、合計2ないか。
【答弁】この広場は、土地開発箇所のちびっこ広場しかなく、会社の保有地で、現在民間に貸し出しをしているため、公園として活用することは難しい。

星田北5丁目にある「交野市防災多目的広場」は、現在駐車場として使用されている。【要望】民間との契約は一年ごとの契約で、市が活用することは可能であり、この広場を市民のために開放するよう検討してほしい。また、星田北地域に計画的に公園を整備するよう要望する。



写真は星田北5丁目の「交野市防災多目的広場」（現在は民間の駐車場に貸出中）

多重債務の相談窓口の設置を

中上さち子議員が要望

貧困と格差の広がりで多重債務問題が深刻化しており、多重債務者は全国で230万人に達しています。国は、昨年4月に救済のための改善プログラムを策定しました。中上議員は、市の多重債務問題の取り組みについて質問しました。

【質問】救済が進まなかったことから国は、「専門の相談窓口の整備」や「多くの多重債務者の掘り出し（発見）」を自治体に求めている。庁内上げての取り組みが必要であると考えが。

【答弁】多重債務専門相談窓口ではないが、商工観光課の消費者相談コーナーでは、多重債務の相談が本市でも増えている。現在、各課の窓口では多重債務で悩んでいる市民に、解決するための相談窓口への誘導を行っている。必要に応じて部・課が連携し、相談者の生活再生にむけ取り組んでいきたい。



京阪河内森駅のバリアフリー化を早期に

さかの議員が要望

平成14年3月に策定の交通バリアフリー法に基づき、「JR河内磐船駅、京阪河内森駅周辺地区整備基本構想」の残事業となつている「京阪河内森駅のバリアフリー」について坂野議員が質問し、要望しました。

【質問】京阪河内森駅のバリアフリー化の取り組み状況は。

【答弁】先日京阪電鉄から河内森駅のバリアフリー化の早期着手の意向を受けたところである。基本構想の目標年次の平成22年度を前提とした早期着手と理解している。今後、市として、京阪電鉄への補助等の予算確保を含め調整、

【質問】基本構想の河内森駅のバリアフリーの内容は。

【答弁】エレベーターの設置、だれもが利用できるトイレの設置、わかりやすい案内標示、だれもが利用しやすい券売機の設置となっている。

【要望】河内森駅のバリアフリー化は基本構想を策定しているため、市債発行が可能であり、また、大阪府の補助金もあり、市の財政負担は少なくて済むと考えられる。早急な実施を強く要望する。



京阪 河内森駅